

白滝悠遊塾

オホーツク沿岸の古代遺跡群



世界的にも珍しい黒曜石の露頭を目当てに、毎年多くの人が白滝村に訪れている。写真右は、2005年に開催された「古代ロマン体験セミナー」での露頭見学の様子。セミナーでは、石器づくり(写真下)をはじめ、白滝郷土館での遺跡勉強会なども行い、黒曜石の魅力をいろいろな角度から伝えている



古代遺跡群の活用で、 「遺産」の魅力は次世代へ伝える。

2万年前を味わえる 「古代ロマン体験セミナー」

『白滝悠遊塾』は地元NPOや教育委員会、同好会と連携して、オホーツク沿岸古代遺跡群のひとつである白滝遺跡群を活用した「古代ロマン体験セミナー」を実施している。

この体験セミナーは、親子での参加も可能。世界的にも珍しい黒曜石の露頭を探索し、自らの手で採取した原石で、石器づくりを体験することができる。さらに、完成した石器で、実際に食材を加工し、料理にも挑戦。2万年昔の食を体験できるのだ。

子どもたちが、2時間以上も真剣に取り組んでいる姿を目の当たりにしたお母さんから、「勉強も同じように生懸命だったら」と感嘆の声が上がるほど、石器づくりは子どもたちを魅了している。

北海道の宝から日本の宝へ その魅力を 全国へと伝える

「古代ロマン体験セミナー」での黒曜石は、子どもたちを魅了するばかりでなく、全国からも注目されている。

2005年8月、NHKの番組「ほくほくテレビ」が、セミナーを取り上げ、黒曜石と石器づくりに真剣な小学生たちを全道のお茶の間に紹介した。中継後は、「黒曜石の露頭を案内してほしい」との問い合わせが倍増し、『悠遊塾』ではこれを受けて、つねに露頭見学ができる態勢を整えている。

さらに、『悠遊塾』では、05年に文化庁が主催した旅プラン公募「わたしの旅〜日本の歴史と文化をたずねて〜」に、白滝遺跡群を中心とした「旧石器時代を体験する旅」を提示。応募総数800件から選ばれた105件の

魅力的なプランの中に名を連ねるだけでなく、たった9件の特別賞にも選定された。プラン内容には、『悠遊塾』を中心にした2泊3日の体験コースが含まれており、旅を通じて、北海道遺産の魅力伝えていく。

『悠遊塾』では、今後も「古代ロマン体験セミナー」の開催を続ける。また、夏期間は、夏休みなどを考慮して、露頭見学・黒曜石採取・石器づくり・遺跡物展示場見学がつねにできるよう態勢を整えていく予定だ。

「これからは親子での体験に力を入れていきます」と奥山壽雄塾長。遺産を活かした活動で、親子の絆や子どもの心をはぐくんでいきたいと続けた。